

東入間医師会の在宅医療等の取組について

一般社団法人 東入間医師会 会長 井上達夫

令和8年10月2日

東入間医師会の在宅医療等の取組について

在宅医療の担い手不足が大きな課題となる中、二市一町（富士見市、ふじみ野市、三芳町）、朝霞保健所などとの協力の下、多職種連携を図りつつ、在宅医療に取り組んでいる。

ページ

1	地域の現状と課題	...	3
2	在宅医療に係る診療所等	...	4
3	多職種連携の取組	...	5
4	新たな取組	...	6
5	今後の方向性	...	7
6	東入間医師会地域医療・介護相談室（連携拠点）の主な活動	...	8
7	東入間医師会地域医療・介護相談室の相談事業	...	11

1 地域の現状と課題

- ・ 東入間医師会の地域では、以前から在宅医療を専門に担う医療機関は限られており、わずかな数の診療所が少数の在宅患者をケアしてきた。
- ・ 令和4年（2022年）には地域の在宅医療を広く支えてきた富士見在宅クリニック院長が不幸な事件により急逝し、事件の影響もあり、在宅医療の新規の担い手不足は続いている。
- ・ 医師会に所属しない在宅支援診療所が数件加わってはいるが、連携が進んでいる状態とは言えない

2 在宅医療に係る診療所等

令和7年度（2025年）データ

- ・ 在宅医療支援診療所 1 3
- ・ 在宅医療支援病院 4
- ・ 在医総管算定医療機関数 2 3
- ・ 75歳以上人口10万人あたり在医総管算定医療機関数 5 7. 8（26位/30医師会）
- ・ 在宅医療に取り組む一部の診療所と訪問看護、訪問介護の多職種間では、研修会（P. 8）の効果もあり、顔の見える関係が築かれ、密な連携体制が整っている。

3 多職種連携の研修など

- ・ 地域の在宅医療を支えるため、医師会及び関係機関では多職種研修会を積極的に開催
- ・ コロナ禍でも中止せず、Zoomを活用して継続開催
- ・ 現在は対面形式を中心に、行政主催で年2回、医師会主催で年1回の多職種研修会は必ず開催
- ・ さらに医師会や行政、連携拠点などにより、多数の研修等を行っている。
- ・ テーマは看取りやACP、在宅緩和ケア、防災、感染症、認知症など幅広く、地域の多職種連携の基盤を築いている。

<参考> 地域医療・介護相談室の主な活動（最近の多職種研修会等実施状況）（東入間医師会の主催等の事業はP.8～）

4 その他の主な取組

① ハラスメント防止条約の締結

富士見在宅クリニックの事件を受け、日本医師会でも委員会を立ち上げ。当医師会が主導して、ハラスメントについて問題提起。地域では行政との間でハラスメント防止条約の締結、複数人訪問への補助金、ハラスメント相談窓口の設置などが進んだ。

② 入退院支援ルールの構築等

地域独自の入退院連携シートを整備・普及し、入退院時のスムーズなケア移行を実現するため、入退院ルールの構築に係る交流会などを行っている。

③ コロナ往診チーム（KISA2隊埼玉・東入間）の活動

入院困難なコロナ患者を在宅で支援し活動。現在も、月一回のミーティングで、朝霞保健所感染症課と感染症情報を共有し、次のパンデミックに備えている。
また、防災訓練には傷病者役として協力し、地域で防災イベントを行い、また、困難事例への対応についても話し合っている。

5 今後の方向性

- ・ 外来診療を中心とする診療所が在宅医療に参入することは困難が多い。
- ・ すでに在宅医療に取り組んでいる診療所が協力し合い、連携型在宅診療を開設し、あるいは、それに準じた連携システムを構築し、さらに医師会外の在宅支援診療所も含めた連携を強化することなどが現実的
- ・ 今後は、地域の高齢者や在宅患者の増加が見込まれる中、その生活を支えるため、在宅医療に取り組む医療機関の充実、安心して在宅医療に関わることができる体制の確立、病院との協力体制強化、スムーズな入退院連携の推進、多職種による地域活動の充実を図っていくことが重要である。
- ・ 令和8年度には入退院時におけるスムーズで切れ目のない支援を行うため、入退院時連絡シートの作成等に生成AIを活用するための勉強会を実施している。

6 東入間医師会地域医療・介護相談室の主な活動

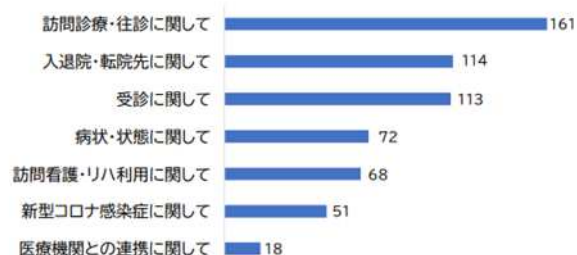
7.2.18	会議・研修名 等	形式	実施日
在宅医療連携拠点 機能強化事業	ドキュメンタリー映画「あなたのおみとり」 上映会・監督講演会	主催	7.5.10
	医科・歯科・介護連携WEB研修「口から食べる本当のゴール」	主催	8.3.11
多職種連携 研修会・会議	第1回多職種研修会 鈴木順平先生	協力	7.6.25
	第2回多職種研修会 儀賀理暁先生	共催	7.10.1
	医・介！連携サポートの会（全6回中今年度5回実施）	主催	4月～隔月
在宅緩和ケア推進	在宅における疼痛コントロールについて 菊岡修一医師	主催	7.11.12
認知症勉強会	第1回「認知症を知ることは自分を知ること」 村田奈緒美先生	主催	7.11.19
	第2回「自分の認知特性を知る」 村田奈緒美先生	主催	7.12.17
防災関連	防災研修会「あなたが無事でいてこそ守れる命がある」 芦沢安寿先生	主催	7.9.10
その他	新興呼吸器感染症後の発熱肺炎診療 岡秀昭先生	主催	8.1.28

7 東入間医師会地域医療・介護相談室（連携拠点）の相談事業

- 2016年11月に東入間医師会館内に設置された在宅医療連携拠点「地域医療・介護相談室」は、2024年度までの8年間で相談件数は約1,300件

1. 相談内容による集計（1回の相談で重複した相談内容あり）

1-1 医療面に関する相談(597件)

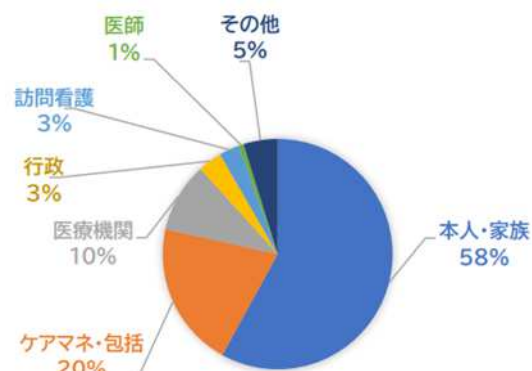


1-2 介護面に関する相談(364件)



- 在宅療養について、入院について等、患者さん、ご家族、様々な職種からの相談に対応している

4-1 医療に関する相談者の内訳（計597件）



4-2 介護に関する相談者の内訳（計364件）

